

2024(令和6)年は西区制80周年

知ってる?

西区のむかし

西区文化協会は1981(昭和56)年の創立。創作・芸能・茶道部門に分かれて活動しており、誰でも加入できます。「にしぶんか」は創立から5年後に発刊されました。西区に密着した文化と歴史、地域に隠された趣あるエピソードを交えて、温故知新を語り継ぐ広報誌です。地域振興課(区役所4階48番窓口)でお渡ししています。



2024(令和6)年に西区は80周年を迎えます。これを記念して、西区文化協会が発行している広報誌「にしぶんか」から、これまでの西区の歴史をひも解いていきます。ぜひ西区のむかしに思いをはせてみてください。

第3回 近代水道の誕生 にしぶんか No.34 から

開港場近くの居留地や日本人街には人口が密集していました。しかしこの地域は埋立地で水質が悪く、井戸を掘っても塩分を含んだ水しか得られませんでした。ここにきれいな大量の水を安定的に供給する必要に迫られました。この事業はイギリス人技師のヘンリー・パーマーに委託されました。パーマーは日本人技術者と一緒に、相模川上流から総延長43kmの導水管(鉄管)を敷設して水を野毛山に導き、貯水池と浄化槽を設けました。この導水管を埋設した道が水道道すいどうみちと呼ばれています。1887(明治20)年10月、野毛山から日本最初の近代水道として市街地への供給が開始されました。これを記念して野毛山にはパーマーの胸像と顕彰碑が建てられました。



パーマーの胸像と顕彰碑

問 西区文化協会事務局(地域振興課内) Tel 320-8392 fax 322-5063